

<市民の意見>
北区（一宮）

テーマ①「岡山市 北区（＋地域）のお宝ってなに？」

- ・これからも大切にしていきたいもの
- ・とても満足しているもの
- ・北区（＋一宮等）の良いところ、特徴的なこと

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

北区のお宝はピンク色の付箋紙に、地域のお宝は紫色の付箋紙に書き出す。

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

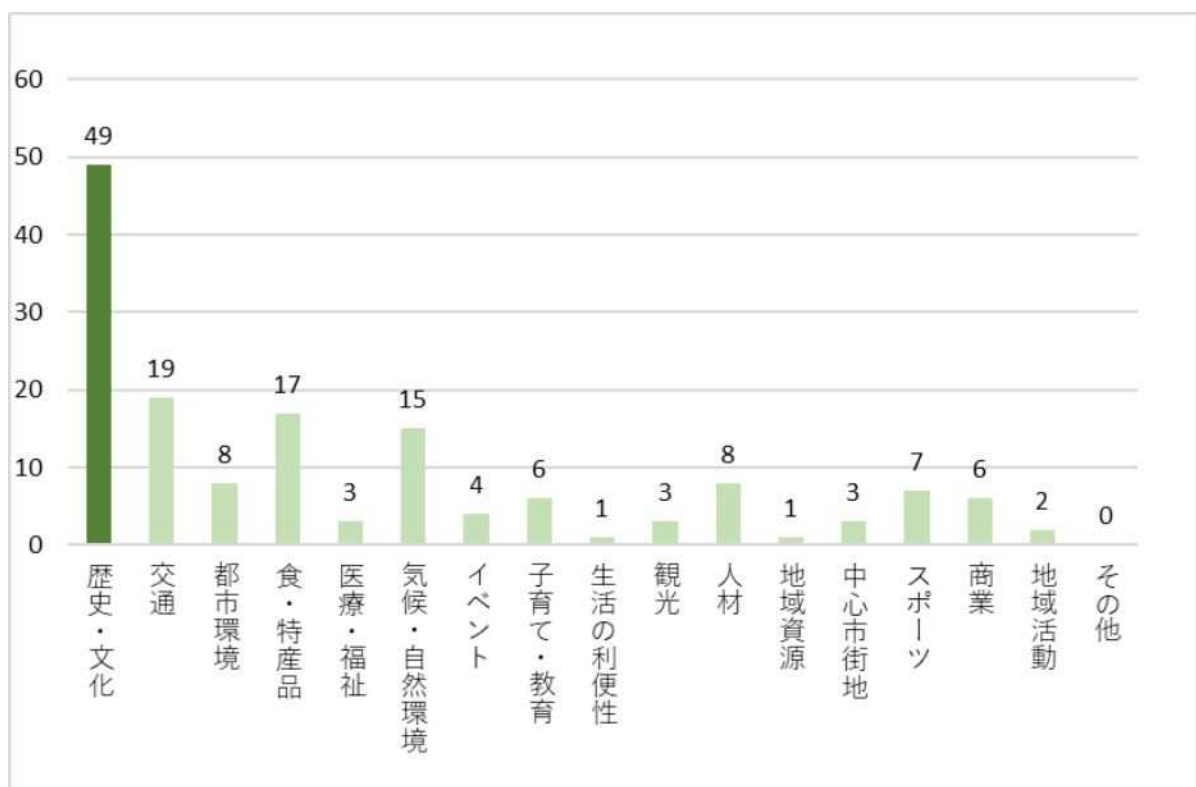
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・新たな意見も追加。類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。（25分間）

③各グループの発表。（8分間）

<結果>

○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で152件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】 ①岡山市 北区（一宮等）のお宝

分野別キーワードの要旨

北区・一宮地域等のお宝

分類	要旨
歴史・文化	・神社仏閣（吉備津神社、吉備津彦神社、龍泉寺、最上稲荷） ・造山古墳、備中高松城趾、近水園、足守・高松の町並み ・岡山城、後樂園
交通	・JR桃太郎線（吉備線）、岡山空港、山陽自動車道吉備スマートIC、吉備路自転車道 ・交通の便が良い（ももちゃり、高速道路、電車、岡山空港）
都市環境	・田舎に見えて、実は発展していて住みやすい ・福谷河川公園 ・人が多すぎず少なすぎない、大都会・大自然の大融合区 ・生活しやすい環境（バリアフリー、ユニバーサルデザイン）
食・特産品	・果物（清水白桃、ぶどう、足守メロン） ・牧場、酒造
医療・福祉	・医療、介護施設が充実
気候・自然環境	・多様な自然環境（ホタル、アナグマ、吉備津神社の桜とアジサイ、用水路、田園風景、ももっ子広場） ・山林（京山・半田山）
イベント	・吉備・陵南まちかど博物館、まほろば祭り ・農産物フェア
子育て・教育	・教育施設が充実（小学校、保育園、学童、児童館、高校、大学） ・小学校と地域が連携できている
生活の利便性	
観光	・吉備中山散策コース ・たけべ八幡温泉
人材	・様々な分野での著名人（緒方洪庵、木下利玄、桜井日奈子、犬養木堂、雪舟） ・移住者が多く、年配者が元気
地域資源	・池田動物園
中心市街地	・イオンモール岡山 ・岡山芸術創造劇場ハレノワ ・イルミネーション
スポーツ	・地域のスポーツ会が盛ん ・岡山県総合グラウンド ・プロスポーツチームがある（シーガルズ、ファジアーノ） ・健康づくりが推進されている（岡山ハレ活プロジェクト）
商業	・段ボール製造販売会社、大型スーパー ・飲食店（カレー、たこやき、たいやき）
地域活動	・移動図書館、移動販売 ・吉備の中山を守る会
その他	

意見が多かった項目

緑文字は地域のお宝

テーマ②「どんなまちで暮らしたいと想いますか？」 そのためには 「暮らしたいまちにするには どんなことが必要だと想いますか？」

<進め方>

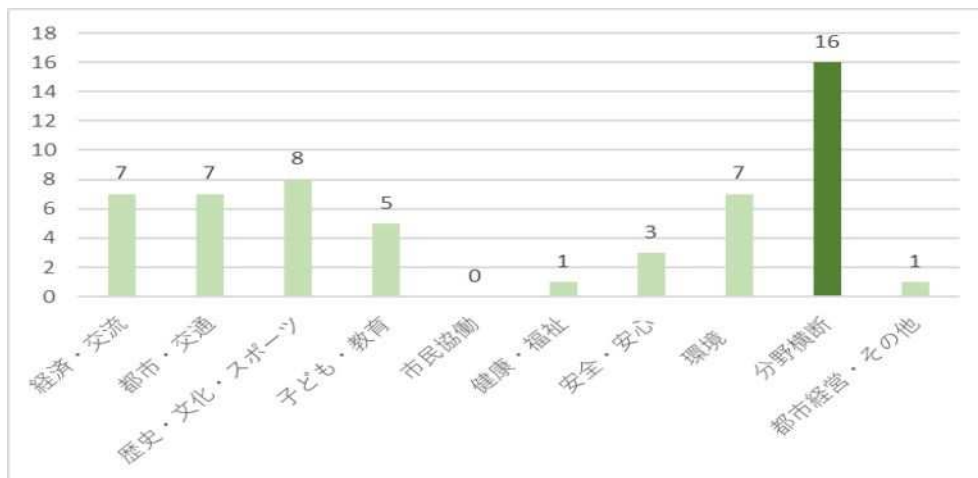
- ①「どんなまちで暮らしたいのか」を黄色の付箋に書き出し、
黄色の付箋に対して「どんな取り組みが必要か」を緑の付箋に書き出す。（10分間）
- ②黄色と緑の付箋紙をセットにして、模造紙に貼りながら一人ずつ発表。
→その後、意見交換・新たな意見も追加。（20分間）
- ③類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。
最後に北区をこんなまちにしたい！というキャッチフレーズを作成。（25分間）
- ④各グループの発表。（12分間）

<結果>

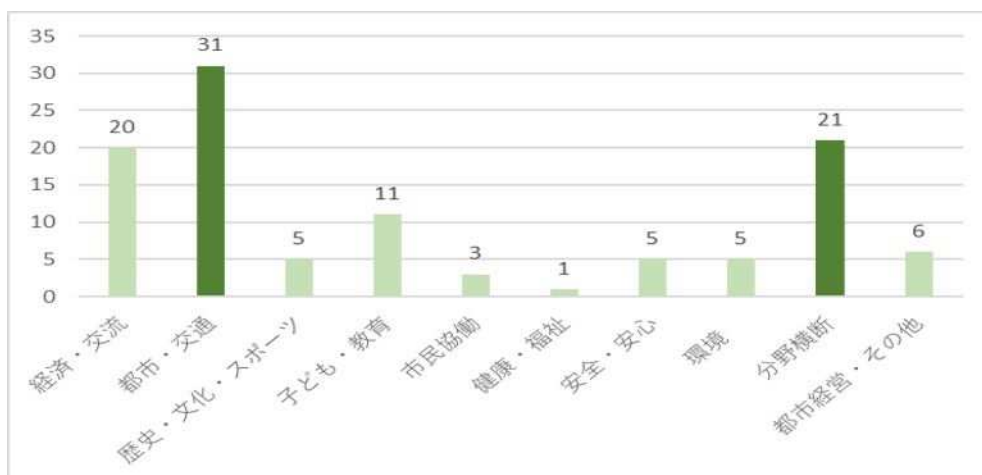
○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは理想像総数で55件、必要な取り組み108件となりました。

○分野別キーワード数

「どんなまちで暮らしたいのか」



「どんな取り組みが必要か」



【市民の意見】どんなまちだったら暮らしたい？

暮らしたいまちにするために必要なことは？

分野別キーワードの要旨

北区・一宮地域等の理想像、必要な取組

中分類	小分類	要旨	
		テーマ②-1 暮らしたいまち	テーマ②-2 必要な取組
経済・交流	産業・雇用	・経済が活性化し、働く選択肢の多いまち	
	中心市街地		
	食・農業	・地産地消が促進されたまち	・ワイン特区を作る ・ご当地グルメのPR ・地産品の流通コストを抑えて購入を容易にする ・農家体験等で農業の担い手を増やす ・放置竹林、耕作放棄地を農業地に利用
	観光・交流	・戻ってきたくなるまち ・人の往来が多く、観光でにぎわうまち	・Uターン就職、移住、Iターンの支援 ・映画などの聖地やパワースポットとして売り出す ・道の駅の設置や民泊の推進
都市・交通	拠点形成・地域振興		
	交通	・交通弱者にやさしいまち ・道が整備され、自由に移動できる便利なまち	・循環バスのレギュラー化と低価格化 ・各種交通整備によるハブ拠点化 ・終電時間の見直しや電車本数の増加 ・道路標識や白線の整備
	都市景観・住環境	・いつでも遊べる安全な環境が整備されたまち	・古民家、空き家、空き地の活用（カフェ、下宿、公営住宅） ・自由に遊べるユニークな公園や遊歩道の整備
歴史・文化、スポーツ	歴史・文化・芸術	・歴史を大切にする文化が継承されるまち ・文化財や街並みが残るまち	・歴史的建造物や遺産へのアクセスの向上 ・訪問滞在しなくなる文化施設の充実 ・伝統工芸品作り体験の開催
	スポーツ	・スポーツができる場所が確保されたまち	・球技も可能なスポーツ公園の整備
子ども・教育	子ども・子育て	・子どもに優しく子育てしやすいまち	・地域やパパママが交流・見守りできる機会の創出 ・子育て世帯への求人の充実 ・子ども食堂の整備 ・子どもの発育段階に応じた支援の実施
	女性・若者	・学生主体で、若者の多いまち	・若者が参画したイベントの開催
	教育	・個性を伸ばす教育を行うまち	・住んでいる地域を知る機会の確保 ・学習する場の整備
市民協働	協働、国際、人権		・ゴミ拾いや困りごと相談などのボランティア支援
健康・福祉	健康・福祉	・高齢者が元気なまち	
安全・安心	防災		・防災学習、防災訓練の開催 ・竹害対策
	安全・安心	・安心して暮らせるまち	・防犯・防災意識向上に向けた啓発
環境	環境	・自然豊かで安心できるキレイなまち	・自然にふれる機会の増加 ・今ある自然を大切にする環境づくり
分野横断	賑わい、活気	・出かけたくなるイベントにあふれる楽しいまち	・イベントについての意見交換・収集の機会 ・参加しやすいイベントの開催 ・地域に残るイベントの継承 ・新たな商業施設の建設
	つながり	・住民の交流が盛んな、子どもやお年寄りにやさしいまち ・誰もが活躍でき、必要とされるまち	・コミュニティハウスやスペース、プレーパークの整備 ・地域での見守り体制の構築
	シビックプライド	・住民が地域のことを知り、誇りに思うまち	
	住みやすさ	・住民が増えてにぎやかで自然の中で豊かに暮らせるまち ・見てよし住んでよし子どもから大人まで楽しく暮らせる心地よいまち ・買い物に困らないまち	・ペットと暮らしやすい環境の整備 ・病院・スーパーなど生活に必要な施設の充実
都市経営・その他	都市経営	・イベントや施設の情報がわかりやすいまち	・イベントや施設が情報を掲載したHPの作成
	その他		

意見が多かった項目

グループ発表要旨

キャッチフレーズ	発表内容
「A～まち一宮 プレーパー区」	一宮・津高・吉備・足守地区の交通改善や駅機能の充実、図書館やコミュニティスペースの整備、子育て支援の場づくりが求められています。観光資源の活用や映画・音楽の誘致で地域を盛り上げ、持続可能で誰もが活躍できるまちを目指します。
「思いやりがいきかう、優しい街」	短時間ながら熱い議論の中で、4つの優しさが見つかりました。財布に優しいまちは地産地消を促進し、経済効果と人の往来を生みます。交通弱者に優しいまちは移動のしやすさを重視し、安全な道路を整備。すべての人に優しいまちは情報がわかりやすく、治安も良好。環境に優しいまちは循環型社会を目指し、ECOでクリーンな暮らしを実現します。
「観て良し、住んで良しの 安心安全なまち」	吉備津彦神社は太陽信仰に基づき設計され、歴史や自然と調和した地域です。遊歩道整備で心も豊かに、歴史文化を体感できるまちにしたい。交通整備やLRT導入、循環バス運行で移動の利便性を高め、若者参画のイベントや古民家活用で地域の魅力を発信。安心安全な子育て環境や地元就業の充実も課題です。
「愛のある地域」	子どもが安心して遊べるよう、ボール使用可能な公園やバスケット・テニスコートの整備を進めたい。病院やスーパーの充実で全世代が暮らしやすくなる町を目指す。防災・防犯への意識を高め、地域の歴史や農業、水の大切さを学べる場を設け、地域愛を育てたい。子どもから大人まで誰もが住みやすいまちづくりを進めたい。

<市民の意見>
東区（瀬戸）

テーマ①「岡山市 東区（+地域）のお宝ってなに？」

- ・これからも大切にしていきたいもの
- ・とても満足しているもの
- ・東区（+瀬戸）の良いところ、特徴的なこと

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

東区のお宝はピンク色の付箋紙に、地域のお宝は紫色の付箋紙に書き出す。

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

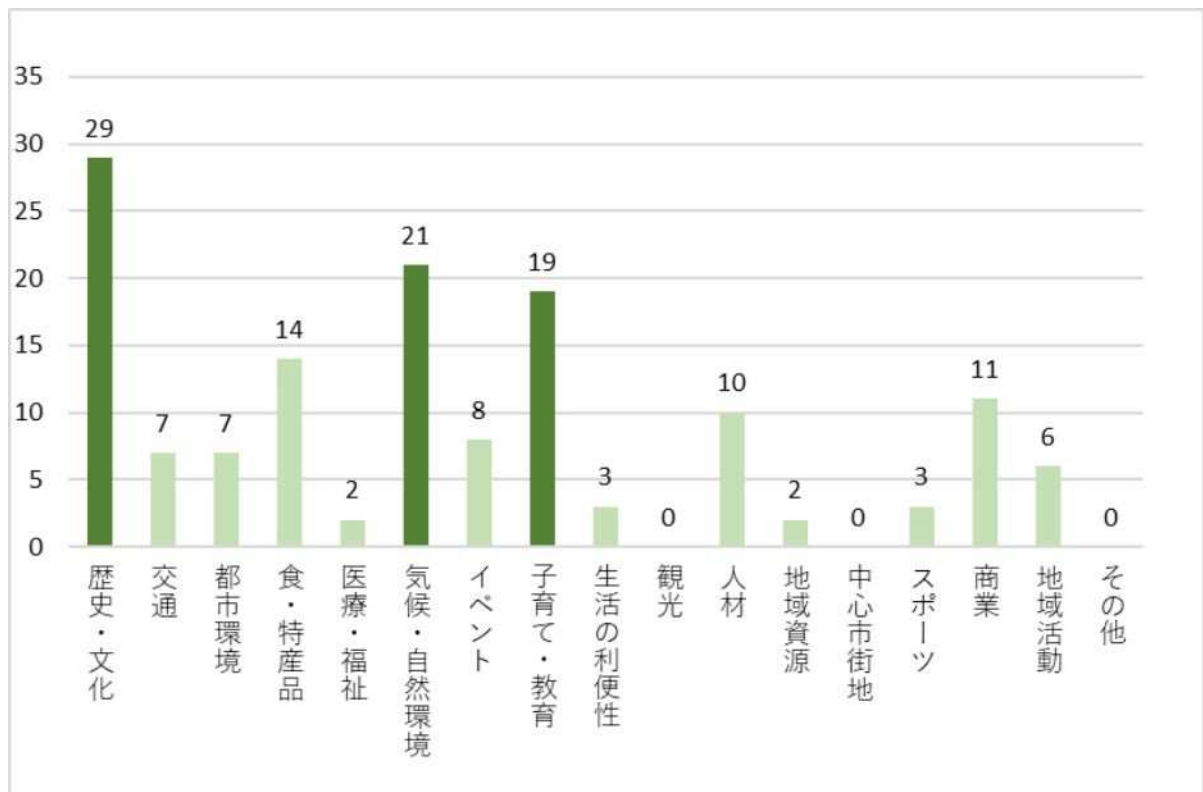
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・新たな意見も追加。類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。（25分間）

③各グループの発表。（8分間）

<結果>

○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で142件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】①岡山市 東区（瀬戸）のお宝

分野別キーワードの要旨

東区・瀬戸地域のお宝

分類	要旨
歴史・文化	・歴史を大切に地域で保存（西大寺観音院及び西大寺会陽・浦間茶白山古墳・亀山城跡） ・瀬戸地域の歴史（吉井川水門・大廻小廻山城跡・万富東大寺瓦窯跡） ・アートの島犬島
交通	・東西南北をつなぐ交通の要衝 ・瀬戸インターがあり県北へのアクセスがよい ・生活交通（モモタク（千種地区）、ぐるりん（城東台・草ヶ部地区）） ・駅に近い
都市環境	・岡山市のベッドタウン ・市街地と農作地のバランスが取れている ・一次、二次、三次産業のバランスがとれている ・西大寺緑花公園、瀬戸町総合運動公園、三谷公園
食・特産品	・おいしいくだもの（瀬戸ジャイアンツ、もも、ぶどう、あたご梨、二十世紀梨、いちご） ・ビールが美味しい（麒麟ビール） ・おいしい食べ物（ラーメン、寿司、焼肉、たまご）
医療・福祉	・上道地域に高齢者サロンがたくさんある ・高齢者の見守り活動が充実
気候・自然環境	・豊富な生き物（アユモドキ、コウノトリ、ホタル、スイゲンゼニタナゴ） ・自然が豊か（吉井川、百間川、三徳園、宗堂桜） ・田畑が多い
イベント	・イベントがたくさんある（花火大会、西大寺朝市、レトロマルシェ、ラジオ体操の会） ・瀬戸地域のイベント（江西ふれあい祭り、三谷公園もみじフェスタ） ・犬島での芸術イベント
子育て・教育	・子どもが多く、見守り体制がある。 ・小学校や公園があり、子育てしやすい絶好の場所 ・瀬戸地域には県立高校が2校あり、それぞれ専門科と普通科がある ・IPU（環太平洋大学）（著名な指導者やOB、地域への協力、避難場所にもなるキャンパス）
生活の利便性	・スーパー、コンビニがたくさんある
観光	
人材	・瀬戸地域は住民が温かく住みやすい、人が助け合う、70・80代の方々がとても元気 ・東区出身の著名人（渋谷日向子、鈴鹿央士、矢野恒太） ・若い人に力を貸す経験豊富な住民が多い ・地域毎に特色をいかしてみんなで取り組む力がある
地域資源	・瀬戸地域の麒麟ビール工場
中心市街地	
スポーツ	・ファジアーノ練習場 ・おかやま西大寺マラソン
商業	・豊富な飲食店（パン屋、焼肉屋、寿司屋、中華料理屋、喫茶店）
地域活動	・町民が仲良し ・東区役所が子どもの遊び場づくりに協力的 ・瀬戸地域では、支所長・支所長代理が身近な存在 ・治安が良い、防災意識が高い
その他	

意見が多かった項目

緑文字は地域のお宝

テーマ②「どんなまちで暮らしたいと想いますか？」 そのためには 「暮らしたいまちにするには どんなことが必要だと想いますか？」

<進め方>

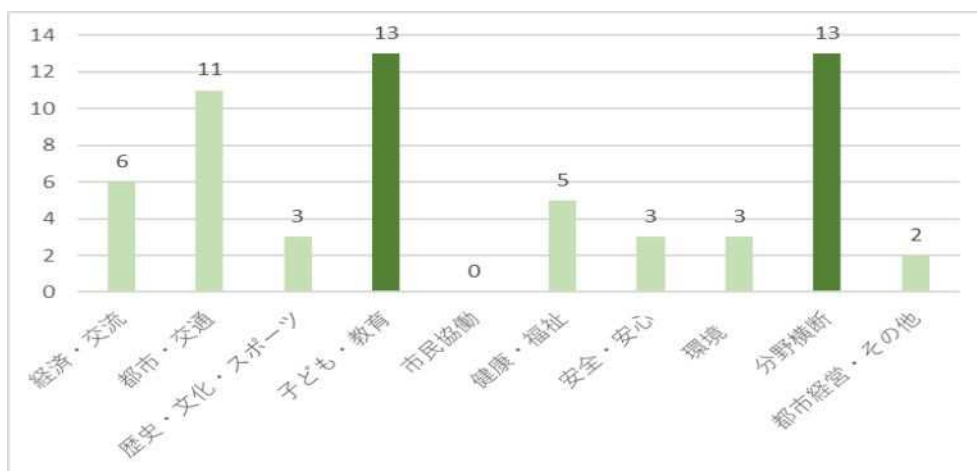
- ①「どんなまちで暮らしたいのか」を黄色の付箋に書き出し、
黄色の付箋に対して「どんな取り組みが必要か」を緑の付箋に書き出す。（10分間）
- ②黄色と緑の付箋紙をセットにして、模造紙に貼りながら一人ずつ発表。
→その後、意見交換・新たな意見も追加。（20分間）
- ③類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。
最後に東区をこんなまちにしたい！というキャッチフレーズを作成。（25分間）
- ④各グループの発表。（12分間）

<結果>

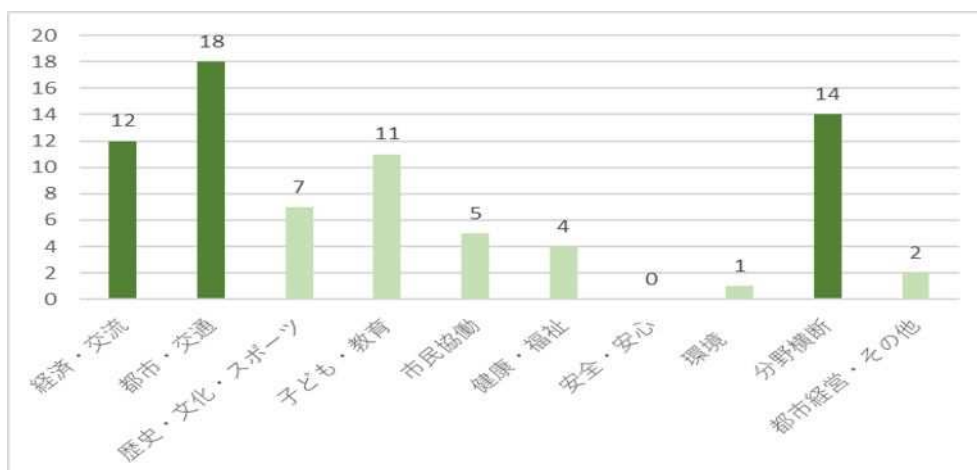
○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは理想像総数で59件、必要な取り組み74件となりました。

○分野別キーワード数

「どんなまちで暮らしたいのか」



「どんな取り組みが必要か」



【市民の意見】どんなまちだったら暮らしたい？

暮らしたいまちにするために必要なことは？

分野別キーワードの要旨

東区・瀬戸地域の理想像、必要な取組

中分類	小分類	要旨	
		テーマ②-1 暮らしたいまち	テーマ②-2 必要な取組
経済・交流	産業・雇用	・将来の就職先の幅が広いまち	・企業を誘致する ・区域内企業インターンシップ体験を増やす ・学生のニーズに応じた職業斡旋を行う
	中心市街地		
	食・農業	・食のおいしいまち ・農業の跡取りがいるまち	・健康的かつおいしいものを生み出す ・集落に住む人々への補助金や農業へ斡旋
	観光・交流	・観光客を呼び込み、区域内外の人々が交流するまち ・県外から住みたいと思う人が殺到するまち	・観光スポットや食のおいしさをPR動画やSNSで発信 ・見どころマップやコースを作成 ・東区の魅力を広げ、移住者を増やす
都市・交通	拠点形成・地域振興		
	交通	・渋滞がないまち ・高齢になっても移動に困らないまち ・行きたい時に行きたいところへ自由に行けるまち	・四車線道路や主要大橋の建設 ・コミュニティバスやライドシェアなど公共交通の整備 ・駅にもちやりを配備 ・瀬戸内市と岡山市を結ぶ橋を設置
	都市景観・住環境	・遊べるところがたくさんあるまち ・島々にも人々が住み、限界集落や消滅集落がないまち ・空き家が放置されていないまち ・商業、住宅、農業の区域が分かれているまち	・個性的な公園やボール遊びができる公園を整備 ・みんなが集まれる場所を提供 ・空き家をリノベーションした交流スペースを開設 ・東区のまちづくりを計画的に進める
歴史・文化、スポーツ	歴史・文化・芸術	・生活に歴史が溶け込むまち ・歴史文化が薫るまち	・歴史を巡るイベントを開催 ・歴史のイベントへ小中学生の参加を促す ・歴史の語り部を育てる
	スポーツ	・スポーツで充実した毎日を暮らせるまち	・プロスポーツの見学応援ツアーの開催 ・ランニングコースの設置
子ども・教育	子ども・子育て	・子どもの数が増えて活気のあるまち ・子どもが楽しく育ち、子育てしやすいまち ・子育て世帯が移住しやすいまち	・こども園を早期に設置 ・子育てのケアを充実
	女性・若者	・楽しい学生生活が送れるまち ・若い人の声が届くまち ・若者が集い、定住してくれるまち	・若者のアイデアをしっかりと取り入れた企画の実施 ・SNSで情報発信し、若い世代の移住を呼び込む
	教育	・学びと遊びがあるまち ・学習を後押ししてくれるまち	・不登校生徒を対象にした学習ボランティアを実施 ・勉強を教えてくれるボランティアの確保 ・自由に使用できる学習スペースの確保
市民協働	協働、国際、人権		・地域が持つ課題を自身の問題として捉える ・ボランティアなどの地域貢献活動に積極的に参加 ・身近な困り事へ情報発信で対応
健康・福祉	健康・福祉	・70代や80代の方がたくさん輝けるステージのあるまち ・高齢者にやさしく住みやすいまち ・心の問題を抱えた人の力になれる、健康に過ごせるまち	・ラジオ体操の会の活性化 ・高齢者が集まれる場を作り、参加を促す ・子どもも大人も心のケアを受けることができる環境整備
	防災		
安全・安心	安全・安心	・犯罪や事故がおきないまち ・安全でみんなが安心して暮らせるまち	
	環境	・自然豊かできれいなまち	・ゴミがないクリーンな地域づくり
分野横断	賑わい、活気	・たくさんのイベントがあり週末が楽しいまち ・地域行事等に若者世代が参画し、活躍できるまち	・県下最大のマルシェや学区別運動会の実施 ・子どもが主体的に計画する楽しいイベントの実施 ・お見合いパーティーなど地域のお祭りやイベントを増やす
	つながり	・どんな世代でも活躍できる環境があるまち ・年齢に関係なくコミュニケーションがとれるまち ・各世代や学生との交流が活発で住民の一体感のあるまち	・隣の人を気にかけて助け合える環境づくり ・若い人や高齢者など地域の人と交流できる場の提供
	シビックプライド	・東区といえば〇〇というものが発信できるまち	・岡山市の東の玄関口であるということを発信
	住みやすさ	・生活に困らない安心して暮らせるまち	・移動販売車のある暮らしの提供
都市経営・その他	都市経営	・税金が少なく運営が上手なまち	・無駄な財政の支出を削減
	その他		

意見が多かった項目

グループ発表要旨

キャッチフレーズ	発表内容
「みんなでみんなの地域を」	子どもだけでなく大人の未来も大切に考え、税の見直しや行政支援によって高齢者が住みやすい町づくりを目指す。自然を守りつつ廃墟再開発で地域を活性化し、犬島への支援も検討。若者は学習支援や主体的な活動を通じて将来の選択肢を広げたいと考える。安心して子育てできる環境も重要で、公園整備やアートを取り入れた楽しい場づくりが求められている。全世代が暮らしやすい未来を描いている。
「みんなが活躍できる東区」	どの世代も暮らしやすい東区を目指し、支え合う移動手段や子育て支援の充実を提案。若者の移住促進や世代間交流を通じた地域づくり、SNSでの魅力発信も重要。スポーツ応援による一体感の醸成や、観光資源を活用した健康づくりの取組も評価されており、誰もが元気に暮らせる東区を目指している。
「安心して子育てができる町」	行政と連携し、移動支援や移動販売を通じて生活に困らない町を目指す。高齢者にやさしい公共交通や子ども園の整備も必要。地域では、世代を超えた交流を促進するために祭りやイベントを増やし、若者が集まる町づくりを推進。SNSでのPRやボランティア、見守り活動を通じて、誰もが安心して暮らせる町を実現したい。
「子どもと高齢者が 心豊かに暮らせる街!!」	安全な街は、子どもや高齢者が心豊かに暮らすために不可欠であり、人づくりがその基盤となる。地域を愛し、助け合い、学習支援や伝統継承を通じて交流が生まれることで、暮らしやすい街になる。瀬戸ICの整備により人や企業が集まり、地域の中心となる可能性がある。三谷公園の山にトンネルを通すなど、大胆な発想で地域資源を活用し、総合計画に反映させることが東区の発展につながる。

<市民の意見>
南区（灘崎）

テーマ①「岡山市 南区（+地域）のお宝ってなに？」

- ・これからも大切にしていきたいもの
- ・とても満足しているもの
- ・南区（+灘崎）の良いところ、特徴的なこと

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

南区のお宝はピンク色の付箋紙に、地域のお宝は紫色の付箋紙に書き出す。

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

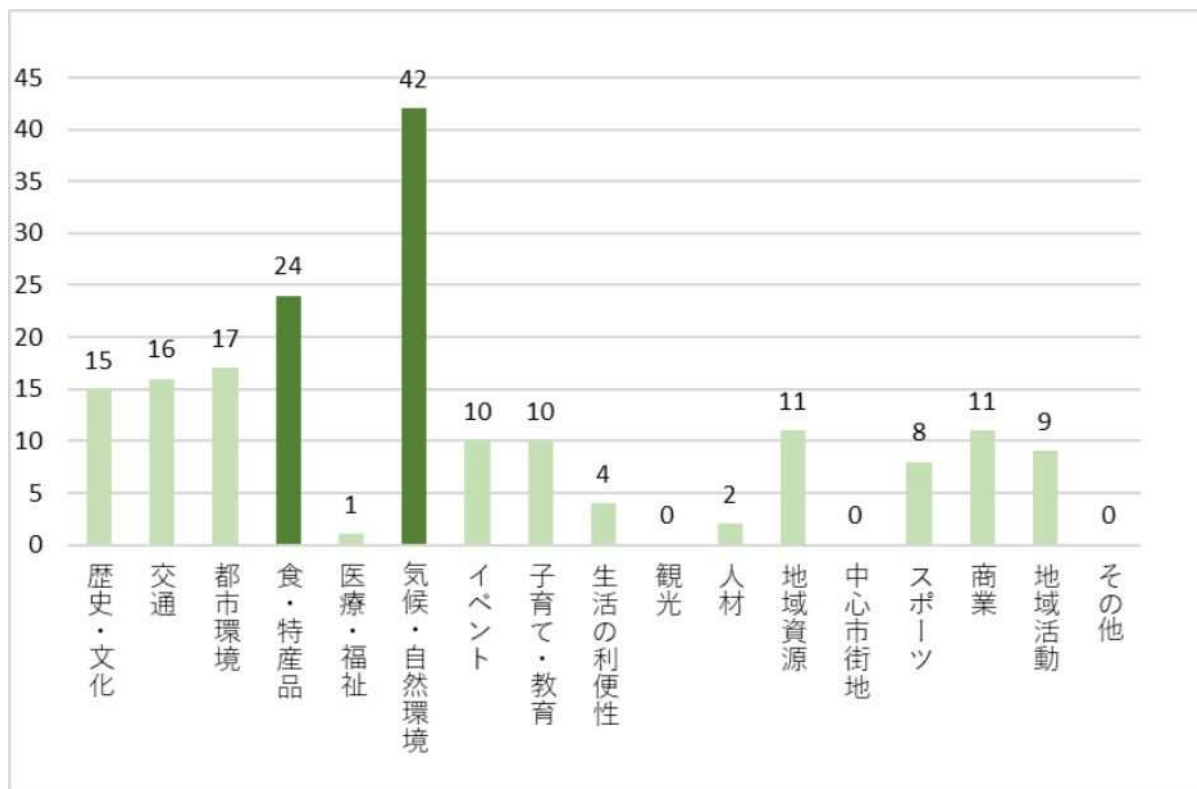
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・新たな意見も追加。類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。（25分間）

③各グループの発表。（8分間）

<結果>

○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で180件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】①岡山市 南区（灘崎）のお宝

分野別キーワードの要旨

南区・灘崎地域のお宝

分類	要旨
歴史・文化	・干拓第1区・第7区・樋門、彦崎貝塚、忠魂碑、迫川獅子舞、由加山北参道 ・干拓施設跡、妹尾太郎兼康館跡、天城街道、妹尾の古き良き街並み ・灘崎・浦安の文化施設
交通	・岡山市内にも玉野市内にも近くJRなどの交通の便がよい ・デマンドタクシー「ブンタク」 ・2号線が便利、平地が広く自転車移動がしやすい、道路アクセスが良い、散歩できる道 ・バスFLAt（妹尾・北長瀬線）
都市環境	・子どもが楽しめる公園（灘崎町総合公園等） ・公園が多く、都会と自然が共存している ・路地・用水が多い
食・特産品	・地産の作物（千両ナス・レンコン・米・麦・ピノガール） ・みさお牧場 ・プロペラかりんとう、いちご、うなぎ
医療・福祉	・ゆめの里（老人ホーム）
気候・自然環境	・奥迫川のホタル・大山桜、常山の山桜と眺望、美しい麦畑 ・自然豊かな風景 ・渡り鳥やカワセミもいてバードウォッチングができる ・川や用水に魚がいる
イベント	・なださきふるさとまつり、公民館文化祭、植松の花火、大山桜祭り、彦崎小学校夏祭り ・サウスビレッジのイベント ・カモメ朝市、地域が元気になるイベント
子育て・教育	・中学生ボランティアグループ「チーム灘」 ・農業を通じた学校とのつながり ・子育てしやすい環境 ・登下校時の見回り活動が活発、子どもが遊べるところが多い
生活の利便性	・多様な店舗があり、買い物のしやすい岡南エリア
観光	
人材	・挨拶を返してくれる習慣 ・高齢者が元気
地域資源	・サウスビレッジ（パン屋やグルメ、新鮮な野菜が購入できる） ・市場 ・飛行場
中心市街地	
スポーツ	・運動施設（野球場、サッカー場、市民プール、ゴルフ練習場、テニスコート、温水プール） ・スポーツ少年団 ・ウォーキング、ランニングが盛んな臨港グリーンアベニュー
商業	・飲食店が多い（焼肉屋・カフェ・そば屋・駄菓子屋） ・岡南シネマをはじめとした娯楽施設、商業施設、さらにパン屋が多い
地域活動	・地域に支持される施設（灘崎図書館、文化センター、浦安公園、体育館） ・消防団の活動が活発
その他	

意見が多かった項目

緑文字は地域のお宝

テーマ②「どんなまちで暮らしたいと想いますか？」 そのためには 「暮らしたいまちにするには どんなことが必要だと想いますか？」

<進め方>

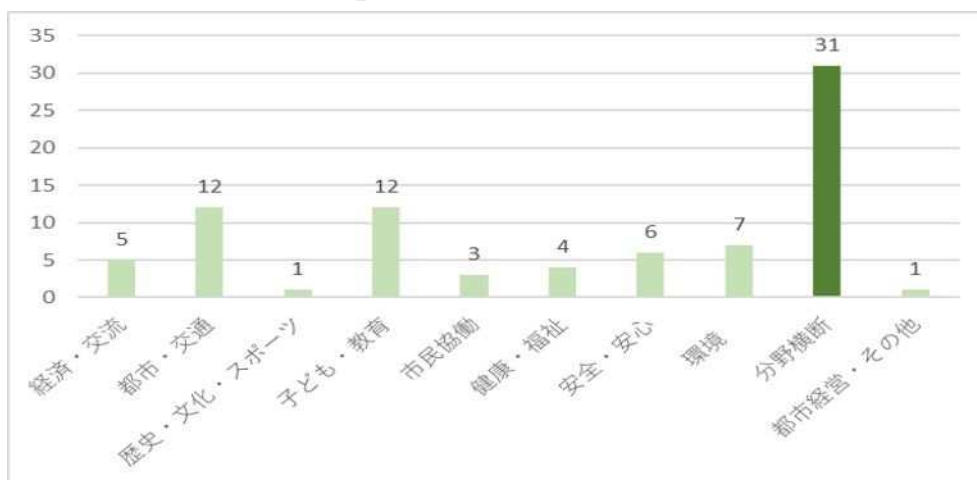
- ①「どんなまちで暮らしたいのか」を黄色の付箋に書き出し、
黄色の付箋に対して「どんな取り組みが必要か」を緑の付箋に書き出す。（10分間）
- ②黄色と緑の付箋紙をセットにして、模造紙に貼りながら一人ずつ発表。
→その後、意見交換・新たな意見も追加。（20分間）
- ③類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる。
最後に南区をこんなまちにしたい！というキャッチフレーズを作成。（25分間）
- ④各グループの発表。（12分間）

<結果>

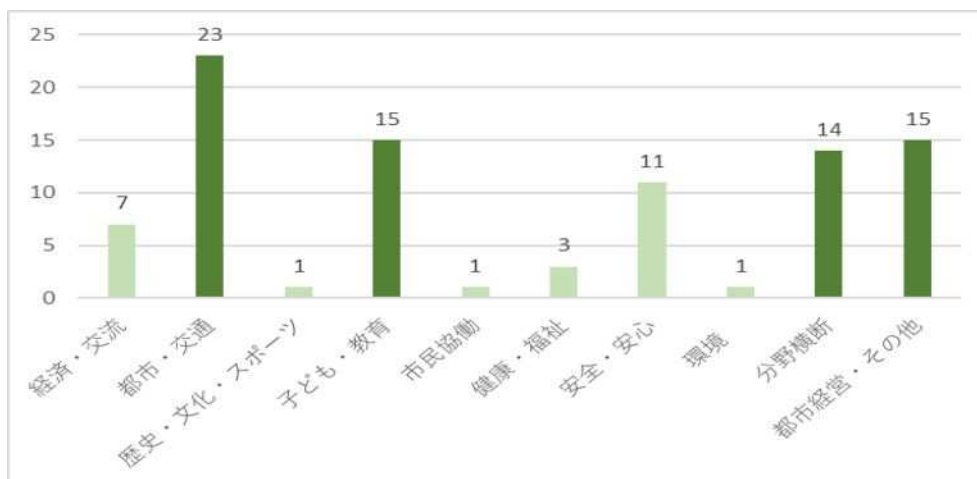
○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは理想像総数で82件、必要な取り組み91件となりました。

○分野別キーワード数

「どんなまちで暮らしたいのか」



「どんな取り組みが必要か」



【市民の意見】どんなまちだったら暮らしたい？

暮らしたいまちにするために必要なことは？

分野別キーワードの要旨

南区・灘崎地域の理想像、必要な取組

中分類	小分類	要旨	
		テーマ②-1 暮らしたいまち	テーマ②-2 必要な取組
経済・交流	産業・雇用	・産業が発達し、働く企業が多いまち	・ものづくり企業を含む企業誘致 ・職場・住宅の充実
	中心市街地		
	食・農業		・農家への支援
	観光・交流	・Uターンして帰ってこられるまち	・絶景スポットや観光地をSNSで魅力を見直し発信 ・地域を生かした観光地区の充実
都市・交通	拠点形成・地域振興	・商業の盛んなまち	
	交通	・車がなくても過ごしやすい、公共交通の便が良いまち ・移動しやすい道路が整備されたまち	・公共交通の充実（電車、バス、タクシー、プンタク、自動運転化） ・バス路線の新設 ・南北の中距離輸送用の道路の整備
	都市景観・住環境		・子どもが遊べる公園・遊歩道の整備
歴史・文化、スポーツ	歴史・文化・芸術	・歴史や伝統を大切にするまち	
	スポーツ		・ニュースポーツによる3世代交流
子ども・教育	子ども・子育て	・子どもたちが地域で守られたまち ・安心して登校でき安全に遊べるまち ・子育てしやすいまち	・病児保育の充実 ・子どものためのものづくり・遊びイベントの開催 ・子育て世帯に対し親子で交流できるイベントの開催 ・給食費や子ども医療費の完全無償化
	女性・若者	・若者が住みたい・戻りたいと思えるまち ・若者が住みやすいまち	・ジェンダーへの理解 ・チーム灘のような若者が活動できる環境の整備 ・住宅補助や空き家の有効活用 ・若者が主体的に参画できるイベントの開催 ・魅力的な企業の誘致
	教育		・社会教育施策の振興 ・社会教育士の支援 ・地域学協働の推進 ・小学校から町や地域の歴史、伝統を学ぶ機会の創出
市民協働	協働、国際、人権	・住民自治が進んだまち ・地域活動を支える担い手がいるまち	・人・地域・しごとをつなぐ場の提供
健康・福祉	健康・福祉	・高齢者の買い物支援や福祉サービスが豊富なまち ・最期まで家族と過ごせるまち	・医療施設の充実 ・高齢者施設と学童・保育のマッチング ・認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催
安全・安心	防災	・災害に強い安心安全なまち	・防災訓練の定期開催 ・防災情報の発信 ・災害対策・避難施設の充実
	安全・安心	・誰もが安心して出かけられるまち	・地域による見守りの継続・支援 ・防犯対策や交通安全の推進
環境	環境	・自然が豊かで落ち着いて暮らせるまち ・緑の風景を守っていけるまち	・自然保護の推進
分野横断	賑わい、活気	・イベントが盛んで、賑わいのあるまち	・イベントの開催（多世代・地域・若者交流、文化や伝統の承継） ・地域行事情報がすぐ手に入る仕組みづくり
	つながり	・気軽に集うことができる場所があるまち ・他人と協力し何でも出来る環境がある助け合いのまち ・老いも若きも集える多世代交流や横のつながりがあるまち	・出会いの場を増やす施策の実施 ・交流の場を通じた交流の活性化 ・みんなの食堂で地域交流する ・近隣住民・地域・市民、老若男女のつながりの強化
	シビックプライド	・永遠に続いていくまち	
	住みやすさ	・暮らしと商業施設が近く、穏やかで住みやすいまち ・郷土愛が育つまち ・子どもたちが大人になっても住み続けられるまち	
都市経営・その他	都市経営	・気軽に集うことのできるができる場所があるまち	・SNSを活用した情報発信と情報のフォローの促進 ・公共施設講座の充実 ・公民館施策の振興 ・買い物支援の仕組みづくり ・イベントや祭りへの補助金の充実
	その他		

意見が多かった項目

グループ発表要旨

キャッチフレーズ	発表内容
「お帰り若えーもん 笑顔あふれる灘崎へ」	南区は広く交通が課題。車がなくても移動できる施策が必要だ。自然景観を守りつつ若者が働ける場を整え、世代を超えた交流を進めたい。職場や住宅支援で若者が帰れる町に。ジェンダー平等も大切。地域活動の担い手をどう育てるかが課題で、50代・60代も若者として地域を支える意識が求められる。
「地域の力で 次世代に紡いでいけるまち」	公共交通の利便性を高め、車がなくても安心して暮らせる町に。特に高齢者の通院などが楽になる施策が望まれる。世代内の交流はあっても、異なる世代との交流が少ないため、イベントや地域食堂を通じたつながりが大切。こうした取り組みの集大成として、「紡」というキャッチフレーズを掲げた。これはこのグループの高校生メンバーの名前とも重なり、世代を超えて人と人との縁を紡いでいこうという思いが込められている。
「チーム南区！」	子育て世代が住み続けたいと思える町には、イベントや交流の場が必要。農業や自然を活かしつつ、防災にも力を入れることが大切。移動しやすい環境や南環状道路、自動運転など交通整備も求められる。イベント情報はSNSなどで若者に届け、つながりを生むことが重要。社会教育士や地域学校協働本部が機能し、若者が活躍できる仕組みづくりを進めたい。人と人との「つながり」を大切に、このキャッチフレーズが生まれた。